アラートや通知などの内部で生成されたメッセージは、フィルタ、アンチスパム、またはアンチウイルスでスキャンされますか。

内容

[内部生成メッセージのタイプ：](#)
[Cisco ESA Eメールパイプライン](#)

質問

内部で生成されたメッセージは、フィルタ、アンチスパム、またはアンチウイルスによってスキャンされますか。

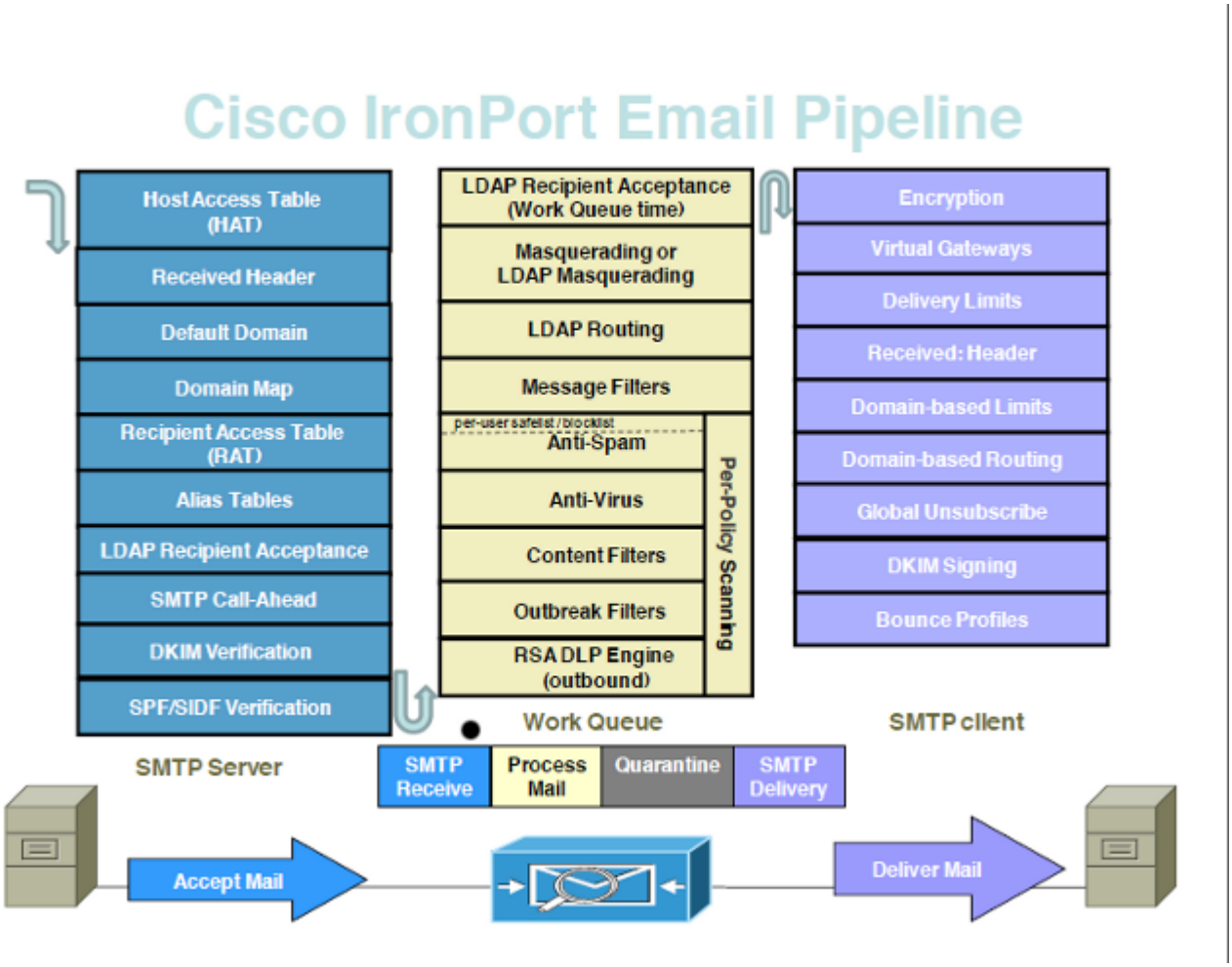
応答（Answer）

内部で生成されたメッセージは、フィルタエンジン、またはアンチスパムやアンチウイルスなどの電子メールパイプラインの「ポリシー単位」スキャンセクションの他の部分を通過しません。

内部生成メッセージのタイプ：

- **ESAでアラート**メッセージが生成され、指定された受信者にESAのステータス条件の変更を通知します。
- **通知メッセージ**は、通知フィルタアクションによって生成されます。（これらのメッセージには、確認されたメッセージの完全なヘッダーが含まれますが、メッセージの内容は含まれません）
- **BCCメッセージ**は、BCCフィルタ・アクションによって生成されます。これらのメッセージは元のメッセージの完全なコピーであり、ウイルスやスパムが含まれている可能性があります。
- **バウンスメッセージ**は、フィルタアクションまたは通常のメッセージ配信試行中の障害によって生成されます。
- bccの代わりにbcc-scanを使用**します。bcc-scanを使用す**ると、通常のメッセージのように作業キューを通じてメッセージが送信され、ウイルスとスパムの両方をスキャンします。 ただし、これらのメッセージはメッセージフィルタを介して再送信されることはありません。これにより、BCCアドレスへのウイルスの配信が防止されます。

Cisco ESA Eメールパイプライン



メッセージフィルタアクションの詳細については、『AsyncOS for Email Advanced Configuration Guide :

[Cisco Eメールセキュリティアプライアンスエンドユーザガイド]